

『事務局通信』第17号

平成30年7月15日発行
発行者 熊本県里親協議会 会長 岩見照也
編集責任者 事務局長 宮津美光

協議会事務局では里親同士、里親と児童相談所または里親と地域社会を『つなぐ』をテーマに事務局通信を発行しています。

私たち里親自身が里親のために取材をし、分かりやすく編集してまいります。

お知らせ1 協議会役員会がありました

7月9日(月曜日)午後2時より協議会役員会を行いました。会長、副会長3名(各支部長)、会計、監事2名、事務局長 合計8名の出席で始まりました。

・総会後に行った支部ごとの話し合いの報告が行われました。

〈熊本県中央支部〉 今年度の予算の管理について話し合われました。

〈熊本市支部〉 総会後にも役員会を実施されており、具体的な年間計画を立ててあります。

また支部内役員も整理されました。親父の会も作られました。

〈八代支部〉 去年と同じく夏休みのふれあいキャンプを今年も開催することで決まり、その内容について意見が交わされました。今年度も(協議会協働事業)として、全体への案内をします。みなさんぜひ参加してください。

〈ファミリーホーム支部〉

7月は課題検討会として中央児童相談所で行いました。8月の交流会はお休みすることになりました。9月からは巡回型の交流会を再開します。

お知らせ2 県中央支部活動の取り組み

熊本県中央児童相談所ブロックの県中央支部6地区の交流会の様子を取材し、お伝えしています。今回は合志・菊池・山鹿地区と阿蘇・小国地区の交流会に参加しました。

『合志・菊池・山鹿地区』6/30

七城温泉ドーム近くのバーベキューガーデンでの昼食交流会でした。子どもさんも併せて17名

の参加でした。地区委員の芹川さんを中心にしてよくまとまった地区のようです。里親支援専門相談員によるレクレーションでゲームも行われ、楽しい交流会でした。

『阿蘇・小国地区』7/10

阿蘇・小国地区の交流会はファミリーホームグリーンデイズで行われました。11名の参加でした。まず、自己紹介とそれぞれの家庭の様子などについて紹介され、全体では年間活動のことや活動費のことなどについて話しあわれました。

お知らせ3 ファミリーホーム支部活動 7/9

ファミリーホーム部会ではこれまで月1回の交流会を実施してきました。その交流や意見交換の中でそれぞれが養育に関してスキルアップすることができたと考えています。また自分たちファミリーホームだけでは解決できない課題が多くあることもわかりました。そこで今回の交流会はその課題について関係者との前向きに考える会として拡大して実施することになりました。熊本県・市の担当課また県中央児童相談所の所長を始め熊本市児相所長、八代児相からも参加いただき、その多くの課題について検討を進めることができました。熊本県の社会的養護の一役を担うファミリーホームに近づいたと思います。熊本県内の8つのファミリーホームで行政が行うショートステイなどの地域の子育て支援にも取り組んでいこうと話し合われました。

お知らせ4

30年度の会費納入をお願いします

協議会の活動は主に会員の皆さんからの会費で運営されています。30年度の会費の納入をお願いします。

下記の口座どちらでも結構です。よろしくお願いいたします。

ファミリーホーム 20,000円
委託中の養育・専門里親 15,000円
未委託の方(養子縁組の方) 5,000円
賛助会員 1口 5,000円
ボランティア会員 3,000円

肥後銀行 子飼橋支店 154
普通口座 普通 口座番号 1971318
熊本県里親協議会 会長 岩見照也

ゆうちょ銀行
記号 17110 番号 30834161
クマモトケンサトオヤキョウギカイ
代表者 岩見照也

お知らせ5「心温まるエピソード」投稿募集

里親家庭では子どもとの新たな出会いから始まる日常生活の中で、さまざまなエピソードがあります。そんな出来事の中から、心温まる出来事を募集します。思い出の絵や作文、写真どのようなものでも結構です。

「すべては子ども達の幸せを願って」 西 輝男

結婚し4年経過したが“子宝”に恵まれず、子どもを育てる喜びも知らないまま過ごしていた。昭和38年に宮崎県日向市に転勤になり、そこで幼くして母親を亡くした中学2年生・小学校6年生の姉妹に出会い、面倒を見るようになった。他人の子の面倒を見たこの経験が、里親の原点となった。この子を含め、私たちが慕い、実家と呼んで帰ってくる10人余りの中から2人について書いてみようと思う。

- 昭和49年、宮崎県の里親認定を受け、53年10月延岡児童相談所より4歳の女兒を受託した。すぐ幼稚園に入れてもらったが、幼稚園のイモ掘り大会の前日に友達と掘って持って帰って来たプリントもあった。55年4月に転勤で湯浦小学校に入学した。しかし、入学式に男の子とケンカをした。3年余りの間に2回も傷害保険のお世話になる事故も起こした。担任の先生からは「いくら人助けであっても、こんなに悪い子を連れてきましたか」と言われた事もあった。昭和58年8月に実の父親から引き取りの申し出があり返すことになったが、いくら悪い子であっても、簡単に気持ちの整理がつくものではなかった。昭和63年11月に父親との折り合いが悪くなり、延岡児童相談所の立会で再受託して、平成4年3月に商業高校を無事に卒業し神奈川県で生活している。
- 昭和60年に熊本県の里親認定を受け、昭和61年3月に八代児童相談所より5歳の女兒を受託した。その子が小学4年生の時、妻が「お母さん今度の参観日には来ないで」と言われた。学校で友達から「あなたのお母さんは、ばあちゃんね」とからかわれたからである。中学時代はソフトボール部で頑張っていたが、裏では実の母親探しを担当へ相談していたそう。高校2年生のころは集団で校則違反をして呼び出されたが、当時PTA副会長だった私は面目なかった。高校3年生の時、オーストラリアで開催された里子国際会議で九州代表として全国7名の仲間と参加する機会を与えていただいた。高校卒業後は、熊本学園大社会福祉学部に入學するが、3年で中退し帰郷。地元で木材市場に就職するが、1年で“寿”退社。少子化の問題がある中、現在は2男4女の母として養育に“奮闘中”である。

どの子にも、最大の“幸せ”を願わずにはいられない。そして私の人生にも大きな収穫があった。今まで縁があったすべての子ども達に感謝している。

お知らせ6 ふれあいキャンプに集まろう

《協議会協働事業》

里親キャンプのお知らせ

今年も夏季キャンプを下記日程で取り組みますので皆さん参加してください。

日時 平成30年年8月11日(土)～
12日(日)(お昼には解散)

現地集合 14:00

※案内プリント、その他は同封していますので、そちらでご確認をお願いします。



「里親カフェ」毎月第一水曜日

協議会事務所は、気軽に立ち寄っていただけのような場所になればいいと考えて、月イチで里親カフェをオープンすることにしました。子育てについておしゃべりできる時間が提供できればと思っています。予約不要。時間が空いたらどうぞお立ち寄りください。お子さん同伴歓迎(綿あめ作り、ポップコーン作り体験は無料)

飲み物(コーヒー、紅茶、その他)100円

8月1日(第一水曜日)13:30～16:00
事務所 熊本市東区戸島町1177-3

すべては子どもたちの幸せを願って!

里親協議会の活動を支援します

温かいご支援ありがとうございます

〈寄付〉 兎野六歩様(2,000円)

〈支援企業・支援団体〉年間5万円(1口)
〇ふるさと元気ドレッシング工場

〈熊本県里親協議会 事務局〉

事務局長 宮津美光

事務所 861-8031 熊本市東区戸島町1177-3

電話(Fax 同番) 096-380-4666

携帯 080-5250-4666

Eメール pygkb624@yahoo.co.jp

